

2020 年度  
部局 FD 活動報告

①人文社会学部／人文科学研究科

<p>学生による 授業アンケート等</p>	<p>人文社会学部・人文科学研究科では、教室ごとに学究内容と形式が多様であり、学部・研究科で統一した授業アンケートは実施していないが、少人数の特性を活かし、各教室・教員ごとに学生の授業、学習環境について意見を受ける機会を設けている。</p> <p><b>【哲学教室】</b> 学部生・大学院生を対象に、「オンライン授業を受講する上で特に困っていること」、「生活上で特に困っていること」についてのアンケート調査を実施した（5/22）。学生58名の中から、総数15の回答を得た。</p> <p><b>【社会学教室】</b> 毎回の授業内容に関するコメントや質問を、kibacoの課題等の機能を使って提出してもらい、次週の授業の冒頭で応えられるものについてはコメントするというのを、すべての授業で実施した（玉野和志教授）。</p> <p><b>【社会福祉学教室】</b> 4月18日に通信環境等について「自宅学習環境調査」を実施し、学部生74名、院生17名から回答を得た。結果を受け、PC貸与等の個別対応を行った。</p>		
<p>活動状況</p> <p>研究会・講演会・セミナー等</p>	<p>開催日時</p>	<p>参加者数</p>	<p>テーマ・実施内容等</p>
	<p>4月9日（木） ～4月21日（火）</p>	<p>のべ60名</p>	<p>西山雄二教授（フランス語圏文化論）と4名の教員で人文社会学部1年生による新入生向けの勉強会を、オンラインで計6回実施した。</p>
	<p>9月1日（火）</p>	<p>60名</p>	<p>西山雄二教授（フランス語圏文化論）が中心となり、人文社会学部1年生による夏休み自主勉強会を開催した。</p>
<p>委員会・会議等</p>	<p>開催日時</p>	<p>参加者数</p>	<p>テーマ・実施内容等</p>
	<p>9月14日（月）</p>	<p>4名</p>	<p>人文社会学部・人文科学研究科のアセスポリシーを策定した（メール会議）</p>
	<p>12月7日（月）</p>	<p>16名</p>	<p>人文社会学部独自の卒業時アンケート項目を策定した（メール会議）</p>
<p>12月23日（水）</p>	<p>16名</p>	<p>2020年度部局FD活動のふりかえり（メール会議）</p>	
<p>その他</p>			
<p>今後の予定・展望</p>	<p>各教室・教員が、教科の性質に応じておこなっている様々な工夫の紹介、情報共有のため、2015年、2016年度に作成されたパンフレット「授業の工夫」のような印刷物の発行など、人文独自の取り組みを目指したい。今後、「対面・オンライン」授業の併用など、新しい授業形態が求められ、授業を担当する教員に、新しい工夫が求められると思われる。教員個人の努力だけではなく、FD委員として、人文の教員の創意工夫をとりまとめ、共有することで、新しい授業形態への対応を促進していきたい。</p>		

②法学部／法学政治学研究科

活動状況	学生による 授業アンケート等	<p><b>【学部】</b> 例年、通年開講の専門教育科目を対象として、学生による授業評価アンケートを実施しているが、現今のコロナ禍の情勢により、本年度は実施を見合わせた。</p> <p><b>【研究科】</b> 法学政治学専攻においては、少人数のため授業評価アンケートは馴染まず、実施していない。</p>		
	研究会・講演会・ セミナー等	開催日時	参加者数	テーマ・実施内容等
	委員会・会議等	開催日時	参加者数	テーマ・実施内容等
		5月16日（土）	教員8名, 院生7名	政治学専攻第1回FD会議：本年度前期授業の開始にあたって各授業の趣旨、使用教材、アプローチについて情報共有を図るとともに、参加する院生からも、どのような関心・姿勢で臨むかについて確認することを通じて、政治学専攻としての研究・教育水準の向上を図っている。
9月3日（木）		教員8名, 院生7名	政治学専攻第2回FD会議：本年度前期授業の終了にあたって各授業の実施状況（趣旨・目的に即していたか、使用教材を適正に使いこなせたか、アプローチは院生教育に効果的であったか、など）について情報共有を図るとともに、参加する院生からも、どのような関心・姿勢で臨み、どのような成果を得たかについて確認することを通じて、政治学専攻としての研究・教育水準の向上を図っている。	
10月17日（土）		教員8名, 院生8名	政治学専攻第3回FD会議：本年度後期授業の開始にあたって各授業の趣旨、使用教材、アプローチについて情報共有を図るとともに、参加する院生からも、どのような関心・姿勢で臨むかについて確認することを通じて、政治学専攻としての研究・教育水準の向上を図っている。	
その他				
今後の予定・展望	<p><b>【学部】</b> ・法学部のFD活動をより活発化させるために、上記委員会・会議欄記載以外にも月1回以上開催している法律学・政治学各コースでのスタッフ・ミーティングをより充実させ、カリキュラムや講義のあり方について意見交換をし、法学部全体の教育効果の改善につなげていく。 ・コロナ禍の状況を見て授業評価アンケートの実施のあり方を検討する。</p> <p><b>【研究科】</b> ・2007年度より大学院FDの実施が求められていることを踏まえて、法律学・政治学総合演習（全教員・全大学院生が参加する授業）等を中心とした自己点検・評価及びFD活動をさらに充実させていくとともに、定員充足率の向上や外国人留学生の受け入れを含めて、引き続き検討を行う。</p>			

③法学政治学研究科 法曹養成専攻

活動状況	学生による 授業アンケート等	<p>法曹養成専攻（法科大学院）では、法科大学院における教育及び運営の改善・充実のためのアンケート調査を、本法科大学院生を対象に実施している。2020年度前期にオンライン方式により実施し、後期も同様の方式により実施する予定である。同アンケートにおいて、すべての授業科目について法科大学院生による授業評価を行うとともに、あわせて授業内容や方法、オフィス・アワー等の学習支援体制、施設・設備等に対する要望等を尋ねている。同アンケートの回答は、当該科目の担当教員にフィードバックするほか、毎月1回第1木曜日に開催されるFD会議及び専攻会議においても開示して教員間の共通認識とし、授業方法・授業内容だけでなく、学習環境の改善にも役立てた。</p> <p>前期に実施したアンケートでは、新型コロナウイルス感染症対策として実施したオンライン形式での授業やキャンパス施設の利用制限等に関する意見や要望が寄せられたことから、FD会議・専攻会議において対応策を協議した。</p>		
	研究会・講演会・ セミナー等	開催日時	参加者数	テーマ・実施内容等
	委員会・会議等	開催日時	参加者数	テーマ・実施内容等
		FD会議を 毎月第1木曜日 午後1時30分より オンライン 形式で開催	毎回15名 前後の教員 (主に 法科大学院 専任教員) が参加	毎回異なるテーマを取り上げたが、2020年度に扱ったテーマとしては、オンライン形式でのオフィスアワー開設方法の検討、オンライン形式の授業に関する授業相互見学実施報告(詳細は、「その他」欄を参照されたい。)、オンライン形式での期末試験実施方法の検討等、新型コロナウイルス感染症対策に関連したテーマが多かった。
その他	<p>法曹養成専攻では、専任教員は他の教員の授業を見学する義務を負い、その見学結果を所定の報告書にまとめてFD会議に提出・報告し、当該授業に関する見学者教員の評価や問題意識をFD会議構成員間で共有している(授業相互見学制度)。2020年度は、授業がオンライン形式で行われることになったが、オンライン形式でも授業(ミーティング)に参加することが可能であり、特に、オンライン形式での授業実施方法については他の教員の成功例を学ぶ必要性も認められることから、積極的に授業相互見学を実施しようとの共通認識が確認され、多くの専任教員が次々と授業相互見学を実施した。</p> <p>また、法科大学院では、毎年、大学改革支援・学位授与機構に対し「年次報告書」を提出し、審査・評価を受けている。2020年度も例年同様、年次報告書を提出する予定であり、取りまとめ作業が進められている。</p> <p>さらに、2007年度以降、法科大学院の各年度における自己点検・評価結果については、外部委員による評価を行い、年度ごとの自己評価書を公表しているが、2020年度においても外部委員の審査を受ける予定である(外部委員の選任は現時点で完了している)。</p>			
今後の予定・展望	<p>2019年度に、本学法学部及び明治学院大学法学部との間で、各々法曹養成連携協定を締結した。2022年度からは、これら連携協定に基づく法曹コースからの進学者受け入れを開始することになる。また、2023年度からは、司法試験の在学中受験が可能となる上、司法修習開始時期の前倒しも予定されている。そこで、こうした法曹養成制度に関する諸変化に対応すべく、カリキュラム編成の見直しを始めとする教育体制・教育内容の改善・向上を図る必要がある。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況が収束を見せない状態が今後も継続するのであれば、同感染症の予防策を講じつつ、効果的な教育方法・体制を構築していく必要がある。</p> <p>そのためには、何より優秀な教員を多数確保する必要がある。しかしながら、2020年度に定年退職した専任教員の欠員を補充することが叶わなかった上、2021年度も専任教員の定年退職が予定されている。しかも、同様の事態は今後数年にわたって生ずる見込みが高い。したがって、今後も、優秀な教員を採用するための人事枠・制度の拡充、正規雇用職員の増員を中心とする事務体制の整備、これらを可能にする予算措置を講ずる必要がある。</p>			

④経済経営学部／経営学研究科

活動状況	学生による 授業アンケート等	<p>下記の期間に、学部・専門教育科目および大学院・博士前期課程授業科目についてオンラインで実施した。</p> <p>1. 前期I開講科目：2020年5月25日（月）～6月6日（土） 【大学院】実施授業数 6 履修登録者総数 106人 回収率 90.57%</p> <p>2. 前期・前期II開講科目：2020年7月6日（月）～7月18日（土） 【学部】実施授業数 31 履修登録者総数 4632人 回収率 36.20% 【大学院】実施授業数 24 履修登録者総数 369人 回収率 78.86%</p> <p>3. 後期I開講科目：2020年11月9日（月）～11月21日（土） 【大学院】実施授業数 3 履修登録者総数 38人 回収率 57.89%</p> <p>4. 後期・後期II開講科目：2020年12月9日（月）～2021年1月9日（土） 【学部】実施授業数 36 履修登録者総数 5102人 回収率 28.69% 【大学院】実施授業数 19 履修登録者総数 253人 回収率 60.47%</p> <p>教員はリアルタイムで回答状況を閲覧できる他、終了後に個別授業の集計結果を教員毎に送付し、教授会でも全体の集計結果や主なコメントを共有した。</p>		
	研究会・講演会・ セミナー等	開催日時	参加者数	テーマ・実施内容等
		4月28日（火）	30名	部局FDセミナー「Zoomを用いる授業の計画の紹介」を開催し、Zoomによる授業の準備のための情報共有を行った。
	委員会・会議等	開催日時	参加者数	テーマ・実施内容等
		11月26日（木）	3名	卒業時学修成果等アンケートの質問項目見直しの検討（アセスメントポリシーと学修達成度情報フィードバックシステムとの関連）
その他				
今後の予定・展望	<p>部局FDセミナー等を開催し、部局固有の問題（大人数講義の方法・対処）やオンライン授業の活用などについて教員間の情報共有や改善に取り組みたい。また、授業毎の授業改善アンケートの集計結果の時系列を提示することにより、教員の授業改善や学生の取組状況の推移を確認できるようにしたい。</p>			

⑤理学部／理学研究科

活動状況	学生による 授業アンケート等	今年度は急遽オンライン授業になった。そのため、過去の資料との比較は不可能と判断し、また、オンライン授業で多く出される課題に手いっぱいの子生に対する配慮から、理学部専門教育科目群に関する「授業改善のためのアンケート」は行わなかった。		
	研究会・講演会・ セミナー等	開催日時	参加者数	テーマ・実施内容等
		12月1日（火）	58名	F D 関連セミナー「研究室に入るまでに学んでおいて欲しいこと」（理学部化学科にてオンライン開催）
	委員会・会議等	開催日時	参加者数	テーマ・実施内容等
		6月2日（火） ～8日（月）	4名	前期授業アンケートおよび委員会開催方法について
		6月23日（火） ～26日（金）	6名	2019年度後期の成績分布、後期の授業アンケートについて
		10月21日（水） ～30日（金）	6名	隔年で発行している「講義のコツとポイント」の執筆者選定について
	12月17日（木） ～24日（木）	6名	2020年度前期科目の成績分布、「講義のコツとポイント」の発行形式について	
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年度後期および2020年度前期の成績分布について、各学科で成績分布データの共有を行い、成績評価基準に照らして逸脱した科目がないかなど、単位の質保証の観点から理学部FD委員会で検討を行った。</li> <li>・講義を準備・実施するにあたって参考になる点（講義で心がけていること・講義のコツ・ポイント等）について理学部内で共有するためのリーフレット「講義のコツとポイント」（隔年発行）を作成した。各学科から2名の先生に執筆いただき、電子版として発行した。</li> <li>・学科独自の取組として、数理科学科において、各教員の遠隔授業の方法、工夫を集めた冊子（電子版）を作成した。</li> </ul>			
今後の予定・展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度、理学部FD委員会はメール開催とした。特殊な状況下のためこの形式としたが、効率よく行えたため、今後状況が回復してもメール開催は良いのではないかと。</li> <li>・アンケート結果の経年変化のグラフを中心とした「授業改善アンケート結果リーフレット」（隔年発行）の発行年であったが、専門教育科目のアンケートを実施しなかったため、今年度は発行を見送った。次年度、アンケートを再開した後に、最新のデータを掲載して作成する予定である。</li> </ul>			

⑥都市環境学部／都市環境科学研究科

活動状況	学生による 授業アンケート等	今年度については実施を見送り		
	研究会・講演会・ セミナー等	開催日時	参加者数	テーマ・実施内容等
	委員会・会議等	開催日時	参加者数	テーマ・実施内容等
		7月20日（月） メール開催	8名	全学FD委員会審議事項の確認、部局FDセミナーの実施について
		10月30日（金） メール開催	8名	全学FD委員会審議事項の確認、部局授業アンケートの実施について
11月27日（金） メール開催		8名	全学FD委員会審議事項の確認・審議	
その他	全学FD委員会の活動や資料、イベントの紹介については、部局FD委員会以外でもメールや代議員会等で全教員向けに周知を行った。			
今後の予定・展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門教育科目の授業アンケートについて、来年度はWEBでの実施を検討中である。</li> <li>・ 例年行っている部局のFDセミナーについても、状況を見ながら実施する方向で調整を行う。</li> </ul>			



⑦システムデザイン学部／システムデザイン研究科

活動状況	学生による 授業アンケート等	前期開講科目については、オンライン授業対応などに伴うアンケートの配布回収体制を作ることができなかったため、アンケートは実施しなかった。後期開講科目に関しては1月6日～2月3日の間に授業改善アンケートを実施した。		
	研究会・講演会・ セミナー等	開催日時	参加者数	テーマ・実施内容等
	委員会・会議等	開催日時	参加者数	テーマ・実施内容等
		11月19日（木）	7名	F D委員会報告、授業改善アンケートの実施について。
その他	本年度はコロナ感染対策に伴うオンライン授業対応などに時間と労力を取られ、F D活動にまで十分に時間を取ることができなかった。そのなかでも、オンライン授業のノウハウなどを情報共有できるように努めた。			
今後の予定・展望	今後も引き続き、学部・研究科合同のF D部会を定期的に行い、全学F D委員会との連携、F Dの共通認識の形成、具体的取組の実施検討を行う。システムデザイン学部実施の授業評価アンケートについて、アンケートの質問項目の再検討や個々の教員の授業改善へ繋げていくための方策などを検討したい。			



⑧健康福祉学部／人間健康科学研究科

活動状況	学生による授業アンケート等	<p>専門教育科目を対象に、学生による授業改善アンケートを実施している。前期末と学年末に集計結果をまとめ、各授業担当教員にフィードバックし、次年度の講義内容の改善に役立てている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施対象科目：前期133科目、後期132科目、通年4科目</li> <li>・回答科目数（実施率）：前期19科目（14.3%）、後期・通年科目は集計中</li> </ul> <p>※前期は、対象科目133科目のうち、対面授業を一部再開した科目（17科目）と期末試験のみ対面で実施した科目（36科目）の計53科目について、アンケート用紙を授業担当教員に配布した。</p>		
	研究会・講演会・セミナー等	開催日時	参加者数	テーマ・実施内容等
		8月20日（木） 16：00～ 17：30	33名	「授業における感染防御対策」のテーマで行った。新型コロナウイルスの概要や、2020年度前期の授業で具体的にどのような感染防御対策を行ったか等について、荒川キャンパスの教員5名が講演した（Zoomによるオンライン開催）。
	委員会・会議等	開催日時	参加者数	テーマ・実施内容等
		7月6日（月）	5名	部会長選出・全学FD委員会報告
10月5日（月）		5名	部局FDセミナー実施報告・前期授業改善アンケート集計結果・自由記述フィルタリングについて	
	3月		後期授業改善アンケート集計結果・自由記述フィルタリングについて	
その他				
今後の予定・展望	<p>全教員にFD関連の知識を深めていただき、全体の教育力の底上げを図りたい。そのために、今後もオンラインセミナー等を開催し、FDについて学べる機会を提供していきたい。</p>			